

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 奈良市立富雄北幼稚園

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒631-0074
奈良県奈良市三松一丁目5-6

E-mail : kg-tomiokita@city.nara.lg.jp

Website : http://www.naracity.ed.jp/kin01/index.cfm/20.html

児童生徒数：男子 33 名 女子 39 名 合計 72 名
 児童・生徒の年齢 4 歳 ~ 6 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

テーマ「自らすすんで活動し、思いを伝え合えることができる幼児の育成」
－ 心揺さぶる体験を通して －

(1) 1年間の主な活動内容

持続発展教育として、感動体験で深めることを柱に、子どもたちに『心揺さぶる体験』を考え、本年度も「食育」「世界遺産学習」「環境教育」「国際理解」に取り組みました。

① 食育

『栽培活動』しっかり食べて元気に遊ぼうをキャッチコピーに

・「小麦の栽培」種まき・麦踏み・収穫

5・6月には小麦の収穫、6月はその小麦を使って、誕生会のおやつにホットケーキにして食べました。小麦を挽いて粉ができるのにずいぶん手間隙がかかることを知りました。その後、



来年度に向けて4歳児が11月に小麦の種を蒔き、2月には麦踏みをしました。出てきたばかりの芽を踏むことに少し気にしている子どももいました。



・「夏野菜・冬野菜 等」苗植え・水やり・収穫

いろいろな夏野菜を植え、1学期は、毎日世話をしてできた野菜を食べました。夏休みに入ってから、どれだけ大きくなったのかをホームページに載せて、



幼稚園での野菜の様子を知らせました。また、小さなスイカがだんだん大きくなっていくことやミニトマトがまだ育っていること等を伝えました。冬休み中も寒い中



でも野菜を育て食べることができました。

・「梅・米」田植え・収穫

園内にある梅の木で、多くの梅を収穫して、梅ジュースを造って飲むことができました。また、お米はなかなかうまくできませんでしたが、一人一人牛乳パックで育てました。



・「菜の花プロジェクト」種を植える・刈取り

乾かす・種落とし・油絞り
菜種油を使って



年長児は菜の花のプロジェクトは2年目で、昨年度の様子を覚えていて、菜の花を乾かしたり、種落としをしたりしてから、絞ってできる菜種油や油粕に興味を深めていました。年少児は初めてでしたが、菜の花からできた油で車が動くことに驚いていました。



毎回、地域の方からの畑や苗の提供をしていただいたり、育て方の指導を受けたりして取り組んでいます。



② 世界遺産学習

『1時の会』の機会を使って、大好き奈良といえる子どもたちに

・「正倉院展の話」（観光ボランティアからのお話を聞く）

正倉院展に展示される宝物についてお話を聞く機会を持ちました。ずいぶん昔のものであるけれど、大切なものが残っていること、ずっと残されてきたこと等を、話を聞きながら「わあ、ベットもあったのね。」「これ、靴だなあ。」と興味を示していました。



・「修二会（お水取り）のお話」（観光ボランティアからのお話を聞く）

お水取りの話では、遠いところから水が送られてくること、一度も途絶えることなく、毎年ずっと続いていることに、驚いていました。

③ 環境教育

『環境出前講座』「サークルおてんとさん」のお話

地球にCO₂が増えて、困っていること。電気をたくさん使ったらどうなるのかと「省エネ」についても気が付きました。最後には太陽の光を利用した「ソーラークッカー」で、ポップコーンができることも知り、食べることもできました。

④ 国際理解

- 「日本の伝統文化に触れる」ことを通して、世界に気付いていくように
- ・「茶道教室」年4回実施 初釜では、親子で茶道教室に参加



正座や礼儀、また作法等に、まったく初めての4歳児も見よう見まねでお茶を点てたり、いただくこともできました。季節に応じたお飾りもじっくりと鑑賞して、日本の伝統を少し知る機会になりました。

- ・「剣道教室」年3回実施

竹刀に初めて触れた年少児（4歳児）も、3回目には自分で、竹刀をしっかりと振れるようになり、始まり終わりの挨拶・礼儀について知り、話をしっかりと聞くことができるようになりました。



⑤ 今年度のまとめ

持続発展教育として「食育」「世界遺産学習」「環境教育」「国際理解」に取り組み、感動体験で深めることを柱に、子どもたちに『心揺さぶる体験』をと考え、本年度も同じように取り組んできていますが、繰り返されてきているからこそ、より深く知ろうとする姿がでてきています。「食育」として、食べるまでには様々な経験をしたことは、子どもたちにとって身近な心揺さぶる体験であったといえます。

「環境」について知り、自らどのようにするのがいいのかと考える子どもたちも増えてきています。

「奈良」というたくさんの文化遺産があるところに住んでいる子どもたちにとっては、身近であります、小さいころから親しみや興味を持って関わることから、新しい発見とともに、これからも残していきたい大切なものであることに気付いてほしいと思います。

また、日本の伝統文化を知ることは、子どもたちとともに保護者にとっても、興味・関心を示す機会になり、日本以外のことも知りたいと考えられるようになってきています。

また、来年度も心揺さぶる体験になるよう様々な取組を続けていきたいと思えます。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）